

お元気ですか

～全国各地の会員からのお便りを紹介します～【2018年10月】

第40回 Jネット勉強会報告

—「迎賓館赤坂離宮の本館・主庭」参観—

藤沢勝一郎

今回の勉強会は10月4日(木)、曇り時々雨のあいにくの天気でしたが、参加者は18人(希望者20人、当日欠2人)。迎賓館西口で手荷物検査を受け、飲みかけのペットボトル飲料は、検査員の前で一口飲まされます。

館内でのトイレは利用出来ないなので、入館前に済ませることが必要です。

この後に入館。

一歩中に入ると、その美しさに圧倒されてしまいます。深紅の絨毯、金箔で飾られたレリーフ、大きく歪みの無い鏡など当時の建築・美術・工芸の粋が結集されていて、さすが国の離宮というべきものです。

どの部屋、廊下にも見学者がいたずら？等しないように見張ったり、誘導したりする職員、ボランティア説明員達があちこちに居て、質問にも答えてくれます。

しかし、館内はセキュリティーの観点から撮影禁止となっています。



本館前にて



後ろは、主庭噴水

本館は、明治42年に東宮御所として建てられた日本唯一のネオ・バロック様式の豪華絢爛な西洋宮殿です。現在は、外国の国家元首や政府の長などの国賓を迎え入れた時に、宿泊等の接遇を行う施設となっています。



2018年10月04日 10時24分

000095

2,000円

P02



羽衣の間：かつての舞踏室。輝く館内最大のシャンデリア、天井画は眺める位置によって立体的に見える曲面画法で描かれています。



花鳥の間：晩餐会が催される間です。壁には四季の草花の中で戯れる鳥を表現した大きな七宝が30枚飾られています。

彩鸞(さいらん)の間：本来、来客が最初に案内される控えの間として使われます。現在、朝日の間が改修工事中なので、天皇陛下や総理大臣による外国元首との懇談や首脳会談の場にも使われています。黄金の壺鳥が見守る華麗な空間のある間です。



大ホール：来訪した賓客を天皇皇后両陛下が迎える大ホール。深紅の絨毯が印象的です。



注：このページの写真は「迎賓館赤坂離宮」の入館券、パンフレットからのものです。